

FEBRUARY 28, 2024

アリアンツGIは、報酬、ジェンダー・ダイバーシティ 及び気候に関する投票方針を強化

2024年2月28日。世界有数のアクティブ投資マネージャーであるアリアンツ・グローバル・インベスターズ（アリアンツGI）は、本日、世界中の株主総会において行ってきた投票内容の年間分析を発表いたしました。これは、9,137回（2022年：10,205回）に及ぶ株主総会への参加、並びに100,000件（同：95,512件）に迫る株主提案及び経営提案への投票に基づくものです。

アリアンツGIは、世界におけるすべての総会のうち、71%（2022年：69%）において、少なくとも1件の議案に反対票を投じるか、又は保留若しくは棄権しました。アリアンツGIは、ガバナンス基準に対する高い期待を反映し、世界全体で資本関係議案の18%、取締役選任の24%、及び報酬関連議案の41%に反対票を投じました。

- 2023年における投票の実績によって、独立取締役の選任及びオーバーボーディングに関する懸念が浮き彫りとなり、報酬は米国において引き続き顕著な懸念となっています。
- 2024年において、アリアンツGIは、報酬、ジェンダー・ダイバーシティ及び気候に関する投票方針を強化します。
- 資本化及び報酬の分野は英国における懸念となっています。

2024年に向けた、サステナビリティ及びガバナンスの進展

今後1年間の投票に向け、アリアンツGIは、サステナビリティの側面について3つの主要な方法により、引き続き投票ガイドラインを強化します。

1. 報酬

現在、アリアンツGIは、報酬方針にESGの主要業績評価指標を含めていない欧州の大企業に対して反対票を投じています。2024年については、この要件を欧州以外にまで広げ、2025年にはより小規模な企業も対象とする予定です。

2. ジェンダー・ダイバーシティ

アリアンツGIは、一部の国々においてより厳格な取締役会のジェンダー・ダイバーシティ目標を設定し、英国、イタリア及びフランスの大企業についてはその閾値を40%に引き上げます。また、すべてのアジア上場企業について、1名以上の女性取締役を求めます。アリアンツGIのジェンダー・ダイバーシティへのコミットメントは、2023年の30%クラブ・ドイツ・インベスター・グループの共同設立¹、そしてフランスとドイツにおいてこのイニシアティブの共同議長を務めることへの主な動機となりました。

3. 気候

2023年は、「セイ・オン・クライメート」関連決議の件数の減少が明らかになりました。アリアンツGIは、企業のクライメート・トランジション戦略に重点を置いているため、その投票戦略は、企業が信頼できるネットゼロ戦略を整備していない場合には、ますます取締役の強い説明責任を問うようにアップデートされています。今後、アリアンツGIは、セクターや市場を超えて一貫して企業の進展を比較する具体的な方法を提供する、独自のネットゼロ・アライメント・シェア・メソッドロジック 2 に基づき決定を行います。

2023年の順調なスタートに引き続き、アリアンツGIは引き続き、2024年株主総会シーズンにおいても、再び、選択的に一部の投票を公表します。投票の意図を予め公表することは、アリアンツGIが重要と考え、内密の関与が望ましい結果を生み出す可能性は低いと感じられる問題に関する見解を公にするという、弊社の意思を反映したものです。

2023年の投票

報酬／セイ・オン・ペイ

アリアンツGIは、引き続き欧州における報酬に関する懸念を提起し、ほとんどの「反対票」はドイツ（48%）、イタリア（55%）及びベルギー（61%）で記録されました。成績と報酬の関連性の明確な開示に関する透明性をめぐる懸念は、特にドイツ及びイタリアで浮き彫りになりました。進展が見られたのは、アリアンツGIがこれまで数年間にわたり主張してきたように、ESG関連KPIを現在の報酬方針に取り入れている、欧州の大多数の大企業です。

アリアンツGIの報酬関連議案に対する反対票の比率は、2023年の米国において2022年からやや減少したものの、70%と引き続き高水準でした。アリアンツGIは引き続き、多くの米国企業が、経営陣の卓越した業績を反映するのではなく、短期市場の動きに報いる報酬制度を運営しているということを指摘しています。



「数多くの市場調査が、米国における重要なESG関連決議への株主の支持が2023年に低下したことを示しています。そのトレンドに逆行し、アリアンツGIは、欧州投資家のサステナビリティに対する強い信念に沿い、引き続き重要なESG関連決議へのコミットメントを示しました。弊社は、引き続き代理投票権を活用

し、弊社が持分所有権を有する企業や団体のために、よりサステナブルな未来の形成を支援してまいります。」

マット・クリステンセン

サステナブル&インパクト・インベスティング、グローバルヘッド

株主決議

昨年において、株主決議の件数は過去最高を記録しましたが、賛成票の平均レベルは低化し、ピークであった2021年の33%から22%に低下しました。アリアンツGIは、米国において629件の議案に投票しました。内訳は、コーポレート・ガバナンス関連60件、報酬関連62件、様々な社会的テーマ211件に加え、その他環境関連決議や、様々な分野が混在するものでした。米国において、アリアンツGIは気候関連株主決議の86%、人権関連決議の100%、政治献金及びロビー活動における透明性の向上に関する決議の91%に賛成票を投じました。

セイ・オン・クライメート決議

セイ・オン・クライメート決議への投票は、2022年の約50件に対し、2023年は約30件にとどまり、アリアンツGIは、その大幅な減少を目の当たりにしました。欧州では、ほとんどのセイ・オン・クライメート決議が、依然としてフランスと英国の企業から提起されており、また、欧州以外の国ではオーストラリアが同様の提起で最も突出していました。

「弊社は、セイ・オン・クライメートに対する低投票率に企業が対処する姿勢、及びより広範な投資家の懸念への対応に関する問題を目の当たりにしました。さらに、企業の気候計画が株主投票にかけられた後の修正も、弊社が把握したもう一つの問題です。弊社は一般的に、企業が投資家の懸念に敏感に反応し、それらにどのように対応したかを明言することを期待しています。2023年において、弊社は、これが行われていない場合には、取締役への反対票を投じました。」



アンチア・ストオビ

スチュワードシップ、ヘッド

質の高い取締役会の促進

アリアンツGIは、取締役会の質を非常に重視しています。それは、優れたガバナンスは、財務パフォーマンスの向上と、高いサステナビリティ基準と密接に関連しているからです。2023年において、アリアンツGIは引き続きすべての取締役選任投票において、4分の1近く（24%）の反対票を投じ、さらに、取締役の在任年数が長い、又は大株主の代表であるという理由から、取締役会及び取締役会委員会、又はそのいずれかの独立性が不十分とみなした複数の企業にも反対票を投じました（2022年：25%）。

「弊社は、2024年において、引き続き、独立性に対する期待を強化し、取締役会に対し、独立性のある監査及び報酬委員会の委員長の選任を求めてまいります。オーバーポーディングは、多くの市場において、引き続き主要な懸念となっています。経済不透明性と地政学的リスクの時代において、非業務執行取締役に対する要求が高まる中、弊社は、懸念の声を上げ、特に、常勤役員が2つ以上の非業務執行役員の役職を引き受けている場合や、非業務執行取締役が公開企業・非公開企業において過度に多くの役職を引き受けている場合には、反対票を投じました。」

アンチア・ストオビ

国固有のハイライト

報酬に加え、資本化が英国における主要な懸念分野となる

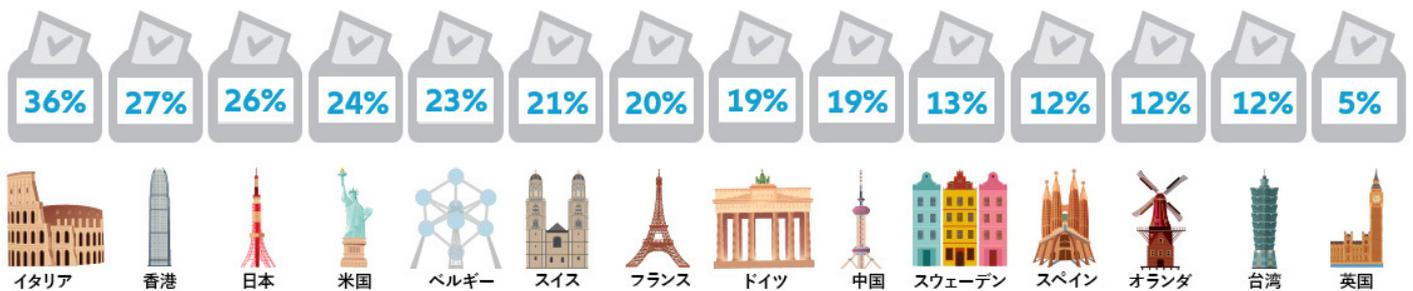
英国市場においてはコーポレート・ガバナンス基準が引き続き高水準であるため、全体として、アリアンツGIが2023年のすべての決議のうち反対票を投じたのは5%にとどまりました（2022年は4%）。アリアンツGIは、健全な株主保護の基準は、市場における投資家信頼度を支える重要な要素であると考えているため、英国における多くのコーポレート・ガバナンス改革を監視しています。

アリアンツGIは、すべての報酬関連議案のうち、13%に反対票を投じましたが、これは2022年の20%から大幅な減少となりました。一般的に、英国において、役員報酬の構造及び開示は、適正に構築されています。アリアンツGIは、より多くの企業が譲渡制限付株式報酬制度を提案していることを認識しており、これは、期待に沿うものであるとともに、高

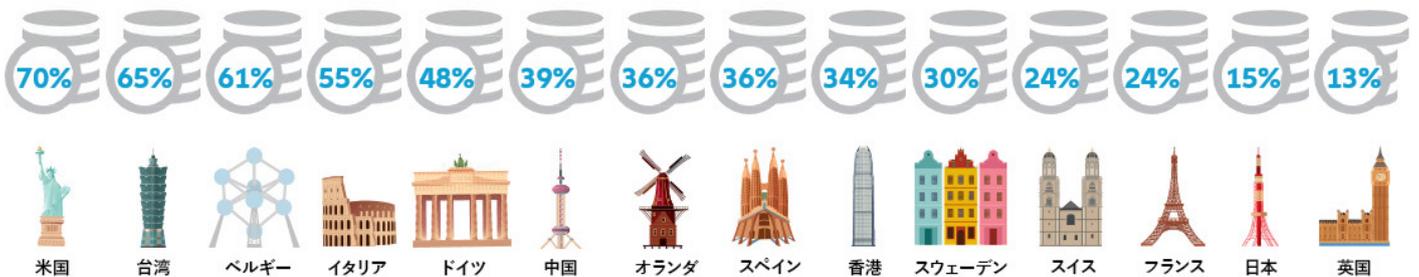
レベルの支持を受けました。投票にかけられた報酬関連の方針の数ははるかに多かった（135件）ものの、全般的に、変更は議論になるようなものではなく、アリアンツGIはさらに高いレベル（87%）で賛成票を投じました。また、アリアンツGIは、報酬報告に対する反対も減少していることを認識しており、これは、報酬方針の開示及び実施における改善が見られたことを示唆しています。

Pre-Emption Group によるガイドラインの増加を認識しているにもかかわらず、アリアンツGIは新株引受権の不適用をめぐる方針による制限の改定に対して反対することを決定しました。発行体は市場慣行による制限に従うため、企業はこれらのより高い制限において新株引受権を廃止しようとしたが、アリアンツGIはそれらの決議のうち、一部のみ賛成しました。その結果、関連決議における反対票は、2022年の1%から2023年は11%と大幅に増加しました。

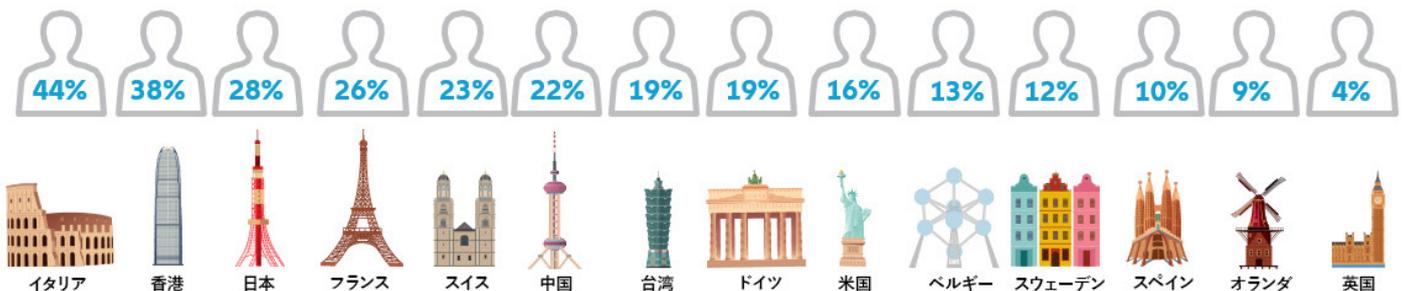
2023年地域別の経営提案に対する反対票の割合合計



2023年地域別の報酬関連議案に対する反対票比率の合計



2023年地域別の取締役関連議案および取締役選任議案に対する反対票の総投票率



出所: AllianzGI proxy voting data.

アリアンツ・グローバル・インベスターズについて

アリアンツ・グローバル・インベスターズは、世界20ヶ所以上の事務所に600名以上の投資プロフェッショナルを有し、5,330億ユーロの資産を運用する世界有数のアクティブ・アセット・マネージャーです。弊社は、長期投資を手がけており、あらゆる段階においてお客様のために価値を生み出すことを目指しています。弊社は、積極的にお客様のパートナーとなり、変化するお客様のニーズを想定することによってこれを可能にし、公開市場・非公開市場にわたるその実力を基盤としてソリューションを構築します。弊社が重視しているお客様の資産の保護と強化は、前向きな変化を加速するために、必然的にサステナビリティへのコミットメントにつながります。弊社の目標は、お客様の所在地や目的にかかわらず、お客様の投資体験をより素晴らしいものにすることです。

2023年12月31日現在のデータ。

¹ <https://www.allianzgi.com/en/insights/sustainability-blog/the-power-of-difference>

¹ The Net-Zero Alignment methodology aims to assess the transition plan's credibility and likely net zero compliant pathway of a company. The methodology is based on the Net Zero Investment Framework from IIGCC's Paris Aligned Investment Initiative.

本レポートは英語版が正文であり日本語版は参考情報です。これら両言語版の間に齟齬がある場合には英語版が優先されます。

<https://www.allianzgi.com/en/press-centre/media/press-releases/20240228-proxy-voting-release>

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズまたはグループ会社（以下、当社）が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり、特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社の見解または信頼できると判断した情報に基づくものであり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容・見解は、特に記載のない場合は本資料作成時点のものであり、既に変更されている場合があり、また、予告なく変更される場合があります。
- 投資にはリスクが伴います。投資対象資産の価格変動等により投資元本を割り込む場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及び金融派生商品（デリバティブ取引等）は、金利、通貨の価格、発行体の業績・財務状況等の変動、経済・政治情勢の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号
一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
一般社団法人投資信託協会に加入
一般社団法人第二種金融商品取引業協会に加入